

時代	室町時代	
世界に誇る石見銀山 ～2007 年 世界遺産に登録～		
室町時代には、石見銀山(現在の大田市)では大量の銀を産出していました。石見銀山の銀は海外でも使われていました。		



図1 石見城跡
銀山から仁万への交通の要衝をおさえる城。



図2 山吹城跡
銀山支配の拠点の城。難攻不落と呼ばれた。



図3 矢筈城跡
銀山の西を固める城。土塁や堀切の跡が残る。



図4 矢滝城跡
大内氏が築いたとされ、温泉津沖泊道をおさえた。



図6 代官所跡
江戸幕府が現地に置いた支配拠点施設の跡。表門と左右の門長屋の建物が現存。



図5 鵜丸城跡
温泉津防衛の拠点の城。銃陣を敷いたと見られる三段の曲輪群がある。



図7
日本の銀は、多くが板状(丁銀)に加工されました。上の御取納丁銀は、毛利元就が正親町天皇の即位料として朝廷に献納したものです。表に「御取納丁銀」、裏に「四拾参匁銀山御蔵」と書かれています。



図8
石見
日本海側、「Hiwami」(石見)付近にラテン語で「Argenti fodinae」(銀鉱山)とあります。鉱山情報で、日本列島に載るのはこれだけです。

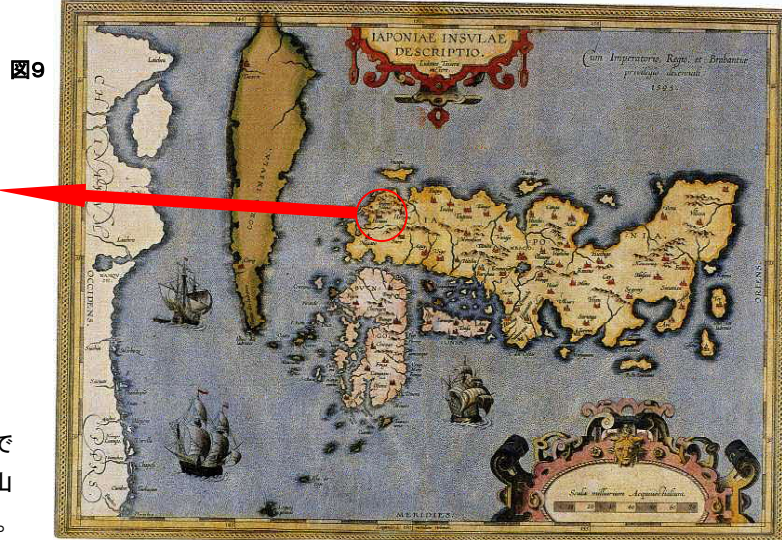


図9

出典：解説・・・(図1～6)島根県提供 (図7～9)『世界遺産登録記念 輝きふたたび石見銀山展』 2007 石見銀山展実行委員会
ワーク・・・(龍源寺間歩画像)島根県提供

～世界にほこる石見銀山～

いわみぎんざん

年 組 名前

室町時代に、石見銀山(現在の大田市)では、大量の銀を産出していました。戦国時代になると、石見銀山をめぐる、大名たちがはげしく戦いました。

challenge

① 石見銀山を支配した、下の戦国大名の人物名を書きましょう。



はる ひさ
晴 久



もと なり
元 就



石見銀山の銀で作られました(御取納丁銀)

☆下の地図は、戦国時代と江戸時代の石見銀山周辺の地図です。



石見城跡



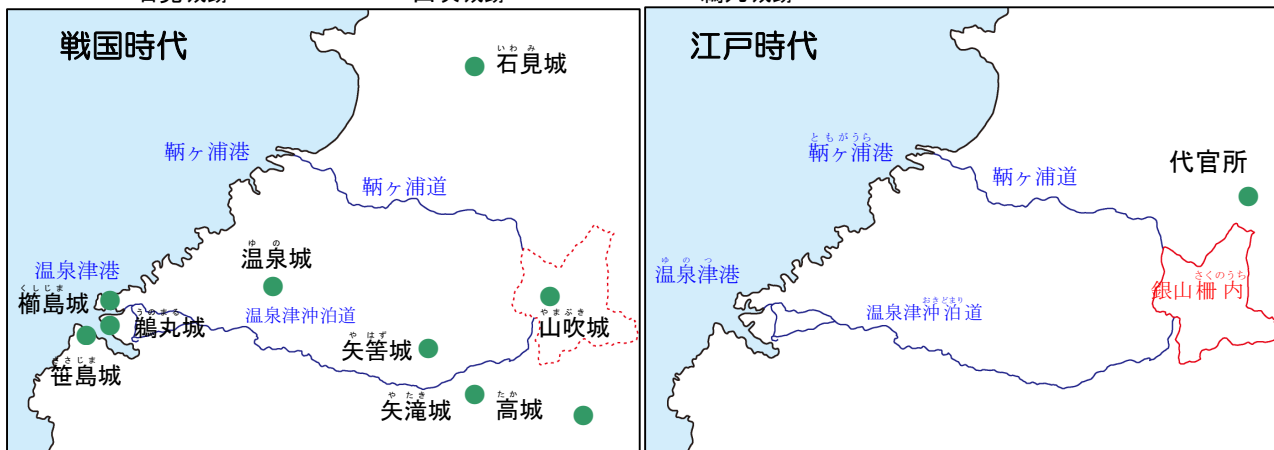
山吹城跡



鵜丸城跡



銀を掘り出すために掘ったトンネル(龍源寺間歩)



矢筈城跡



矢滝城跡



石見銀山を管理した代官所の跡

銀山柵内
銀鉱山の本体。江戸時代の初めに柵で厳重にかこまれていたことからこの名がついた。

② 2つの地図を比べて、気がついたことを書きましょう。